

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年4月30日

事業所名 放課後デイらいと

保護者等数(児童数) 17 回収数 17 割合 100 %

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2			初めは狭く感じたが、部屋を区分してうまく考えられる。	少しでも広く感じてもらえるよう今後もスペースの確保を意識していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	4			バリアフリー仕様に改修されているが、建物の構造上、難しい箇所がある。	住宅改修も含め、今後もバリアフリー化を意識し、検討していきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	11			コロナの心配もあるので無くても良いと思う。コロナがあるため、交流は難しいし、望んでいない。	コロナが落ち着いたら積極的に交流できる機会をもつようにします。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解ができているか	17					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	5		参加はしていないが活動があることは聞いた。コロナが落ち着いたら保護者同士でお話したい。	コロナが落ち着いたら、保護者会等を行えるよう調整していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1				
	14	個人情報に十分注意しているか	17					
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	6				マニュアルの周知を徹底していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	6				引き続き、避難訓練やその他訓練を積極的に行って行きたいと思います。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	17					

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3 年 4 月30 日

事業所名 放課後デイ らいと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			そもその配置数が何人が正解なのか職員間でズレが生じているため、共通の理解を深める必要がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		ちよつとした段差だけでなく、床の滑り具合も事故やケガに繋がるため気を付ける必要がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		シフト的にみんなで話し合える環境が少ないため今後改善していく必要がある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		会報だけでなくHPにも公開できるよう準備を進めている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナによる自粛や、日々の業務に追われて研修の機会が少ないのが現状である。今後改善していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			同じようなメンバーで話し合うことが多いため、普段参加できないスタッフもプログラムの立案に関わるよう出来るようにする
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			送迎スタッフと打ち合わせがなかなかできていないのが現状であるため、送迎スタッフも含めてミーティングを行えるよう調整していきたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			創作や余暇活動など積極的に行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		なかなか主治医の先生と話す機会がないため、今後保護者の方とも相談しながら整えていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナが落ち着いたら地域の方々とも交流を深めていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		専門的技術についての支援がまだまだ出来ていないため、今後改善していきたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用者負担額が変わる場合は、加算の内容や金額も書面で見せながら説明するようにしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナが落ち着いたら保護者会や家族会など企画していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		それぞれの特性に合わせた支援(文字、絵カード、手話など)を行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			まだまだ全員に周知できていないため、徹底していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待チェックリストや職員チェックリストなど行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			